

春季研究会報告書（研究委員会主催）

CIEC 研究委員会委員長

研究会報告集編集委員長

森 夏節（酪農学園大学）

研究委員会主催の春季研究会も 9 回目となり、北村 CIEC 副会長のご協力の下、東京工業大学キャンパスイノベーションセンター東京を会場として、3 月 24 日（土）に開催しました。また同時に、研究会報告集も vol.9 を刊行することができました。

本研究会では、一般論文、実践論文、萌芽論文、研究速報、資料の 5 つのカテゴリーに分け募集し、査読を経て採択しています。

査読方法は、一報ごとに査読の取りまとめ責任者であるメタ査読者を編集委員がつとめ、実践論文には 2 名の、それ以外は 1 名の査読者を CIEC 会員、あるいは CIEC 会員以外にも広く専門性を考慮して選任しています。今回は、カテゴリー変更も含めて 92% の採択率でした。研究者や教員のみならず学生、大学院生の投稿も多く見られ、研究委員会が目的としている「ブラッシュアップのための査読」によって、投稿いただいた論文がさらに充実することに微力ながら貢献できていると考えます。また、本春季研究会での発表、意見交換を通して、CIEC 学会誌である『Computer & Education』への投稿へ繋げる役目も担っております。

本研究会では採択された次の 11 報の発表が行われました。

<実践論文>

- ・ Web 地図を用いた位置情報教育 — アクティブ・ラーニングを実践しながら「まちづくりマップ」を改良する — 笹谷 康之（立命館大学理工学部環境システム工学科）
- ・ クラウドを活用した手書きレポート格納返却システムの開発 松本 多恵（島根大学研究・学術情報機構 総合情報処理センター）

<萌芽論文>

- ・ 高等学校における知的財産教育の学習カリキュラムの開発 — 教科「情報」における学習内容に適応して — 阿濱 志保里（山口県立大学高等教育センター）
- ・ ビジュアルプログラミング学習システム 仁科 智晴（金沢工業大学情報フロンティア学部メディア情報学科） 他 2 名
- ・ 双方向コミュニケーションシステムのビジュアル化 山口 貴大（金沢工業大学情報フロンティア学部メディア情報学科）
- ・ MS-Word に統合化した英語読解力教材作成支援ツールの開発
- テキスト解析機能と教材用テキスト収集機能について — 松尾 かな子（熊本高等専門学校・熊本キャンパス 共通教育科）

- ・情報リテラシー教育におけるクラウドサービスを利用した協同学習の実践と効果 鈴木 大助（北陸大学 経済経営学部 マネジメント学科）
- ・動画作成色彩学習システム 内嶋 遼（金沢工業大学 情報フロンティア学部 メディア情報学科）
- ・色彩分析機能を持つ色彩学習システム 石川 智久（金沢工業大学情報 フロンティア学部 メディア情報学科）
- ・双方向授業システムにおける学生の特定機能 吉川 桂太郎（金沢工業大学大学院 工学研究科 システム設計工学専攻）

<研究速報>

- ・BBC micro:bit を用いた子どもむけプログラミング教材の試作 山川 広人（千歳科学技術大学 理工学部）

会場では、熊坂 CIEC 会長が積極的に議論の起爆剤となってお発言され、活発な質疑応答が行われました。10時30分から休憩をはさんで16:05分までという長丁場でしたが、多くの参加者はご自分の発表が終わっても最後まで残って頂いたことが、今年のうれしい印象でした。

科研費など競争的資金の成果、学生、院生の研究、日ごろの教育実践など、多様な発表の場となっている本研究会が果たす役割を、新しいアイデアで展開・前進させていくことも次年度以降の課題にしたいと考えます。

本研究会の運営にご協力いただきました参加者の皆様、CIEC 事務局、研究委員会の皆様に感謝いたします。